

学年:	1年生	Stage:	Stage II	コード:	K1110	単位:	0.4
モジュール名	コミュニケーション概論			科目担当責任者	李 正姫		
モジュール名(英字)	Cross-Cultural Communication			コース名	KPS 神歯大固有科目系		
一般目標(GIO)	異文化コミュニケーション及び心理学を学ぶことを通して歯科医師として患者の気持ちに答えられる心温かい医療人になることを目標とする。						
ユニット:一般目標	1. 異文化コミュニケーション グローバル社会において異なる背景もつ人々とも医療人としてコミュニケーションをとることができる。 2. 心理学 患者に寄り添う医療を提供するため、共感力のスキル、精神疾患についての理解、医療安全コミュニケーションなど、多方面から心理学の知識とスキルを身につけるようになる。						

#### 教育目標

ディプロマポリシー	DP1-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー-CP
	- / a / -	- / a / -	- / - / a	
a.学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b.学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c.学習成果を上げるために履修する科目				
教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど				
(異文化コミュニケーション) 教 1/ 異文化コミュニケーションワークブック/ 矢代京子他 / 三修社。参 1/ 異文化トレーニング-ボーダレス社会を生きる/ 矢代京子他 / 三修社。参 2/ 異文化コミュニケーション入門ワークブック/ 中村良廣/ 松柏社。参 3/ 多文化共生のコミュニケーション-日本語教育の現場から/ 徳井厚子/ アルク。(心理学) 配布プリント/ 講義用LMSにてPDF配布。				

#### 評価方法

出 欠 席	欠席した場合は、履修ガイドに従って所定の手続きをしてください。(欠席の場合は補完課題があります。速やかに教員の指示を仰いでください。)70%の出席を要します。						
モジュール試験(%)	0						
アクティビティ(%)	100 評価は「心理学」と「異文化コミュニケーション」でそれぞれ50%ずつになります。「異文化コミュニケーション」は提出物で50%、「心理学」は筆記試験(40%)と提出物(10%)で評価します。筆記試験は、5/21(木)実施予定。						
	アクティビティ詳細 (%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
				50(異文化コミュニケーション) / 10(心理学)			0 (異文化コミュニケーション) / 40 (心理学)
再試験の評価方法	不合格の状況により、心理学は筆記試験のみで、異文化コミュニケーションは提出物を再度指示します。						
フィードバックについて							
アクティブラーニング	該当						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K1110_014_6/4_3限	2026/06/04	3		講義・演習	多目的室	60
ユニット	異文化コミュニケーション					
サブユニット	第7章 多文化社会と多言語社会におけるコミュニケーションの現状					
授業目標	さまざまな背景を持つ人々とのコミュニケーション、特に医療機関においての問題点と、その概要について理解を深める。					
キーワード	ボーダレス社会、言語サービス、やさしい日本語					
担当	樋口 壮美					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)	C-2-6					
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K1110_015_6/11_3限	2026/06/11	3		講義・演習	多目的室	60
ユニット	異文化コミュニケーション					
サブユニット	第8章文化と言語使用					
授業目標	言語使用や行動において、その根底にある文化についての考え方について気づきを得ることができる					
キーワード	自分化中心主義と多文化相対主義					
担当	樋口 壮美					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)	C-2-6					
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K1110_016_6/18_3限	2026/06/18	3		講義・演習	多目的室	60
ユニット	異文化コミュニケーション					
サブユニット	第9章日本語とはどのような言語なのか					
授業目標	日本語を母語としない立場で、日本語を概観し、日本語でのコミュニケーションについて気づきを得ることができる。					
キーワード	言語の習得、コミュニケーション					
担当	樋口 壮美					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)	C-2-6					
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K1110_017_6/25_3限	2026/06/25	3		講義・演習	多目的室	60
ユニット	異文化コミュニケーション					
サブユニット	第10章やさしい日本語(1)					
授業目標	「やさしい日本語」ができた背景と、その仕組みについて、医療人の立場で理解を深めることができる。					
キーワード	やさしい日本語、 置き換え、 震災					
担当	樋口 壮美					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)	C-2-6					
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K1110.018_7/2_3限	2026/07/02	3		講義・演習	多目的室	60
ユニット	異文化コミュニケーション					
サブユニット	第11章 やさしい日本語(2)					
授業目標	「やさしい日本語」を使用し、日本語が母語でない方に対する医療について、考え、実践する。					
キーワード	やさしい日本語(医療) ロールプレイ					
担当	樋口 壮美					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)	C-2-6					
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K1110.019_7/9_3限	2026/07/09	3		講義・演習	11番教室	60
ユニット	異文化コミュニケーション					
サブユニット	第12章 医療人としての異文化コミュニケーションのこれから					
授業目標	コミュニケーションの基本となる「やりとり」における「聞く力」を養うために必要なことについて、理解を深める。					
キーワード	異文化、JF日本語教育スタンダードの木					
担当	樋口 壮美					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)	C-2-6					
国試出題基準(令和5年)						